

臨床研究のご協力をお願い

集中治療室で化学療法が行われた血液疾患の調査
多施設後ろ向き観察研究

研究の目的

近年、敗血症など集中治療室(ICU)へ入室を必要とする患者さんの死亡率は減少傾向ですが、血液疾患の死亡率は 40-50%と依然高い状態です。現在、各国において血液疾患を有する患者さんの死亡率の調査や死亡を予測する因子の検証が行われていますが、日本においてはその報告が少なく、日本人の症例集積が十分とは言い難いのが現状です。今回、過去に ICU に入室され、ICU で化学療法が行われた血液疾患の患者さんの診療録から死亡率の調査を行い、死亡を予測する因子を検証したいと考えています。この研究を行うことで、血液疾患を有する重症患者さんに対し、より早期に集中治療を開始し、適切な化学療法を行うことで、死亡率を減少させることを目標としています。

研究の方法

平成 19 年 1 月 1 日～平成 28 年 3 月 31 日の期間に ICU に入室された血液疾患に対して、ICU で化学療法が行われた方が対象となります。主な調査内容は、患者さんの背景(性別、生年月日、病名、慢性疾患の有無など)、ICU 在室中の情報(重症度や検査結果、治療内容など)、転帰に関してです。本調査は純粋な調査であり、患者さんへの直接的な介入や影響はなく、いかなる利益・不利益も生じません。また、情報はすべて匿名化され、個人が特定されることは決してありません。情報は研究責任者が自治医科大学 麻酔科学・集中治療医学講座 集中治療医学部門においてパスワードを設定したファイルに記録しハードディスクに保存します。研究成果は、個人を特定できないようにして学会発表や論文などで報告します。

自分の情報を利用して欲しくない場合には、下記研究責任者にまでご連絡ください。ただし、連絡を頂いた時点で既に情報が匿名化されている場合には、対象から外すことはできません。ご了承ください。なお、研究に参加されなくても不利益をうけるようなことは一切ありません。

なお苦情がある場合は、研究支援課で受け付けますので、ご連絡ください。

本研究への質問に関する連絡先
麻酔科学・集中治療医学講座 集中治療医学部門
助教 方山 真朱 (0285-58-7392)

苦情がある場合の連絡先
自治医科大学 研究支援課(0285-58-8933)

平成 28 年 3 月 2 日 作成